



## 2. Installed Packages : 「Uninstall」 機能

「Uninstall」機能は、次の Sun Cobalt 製品でのみ利用できます。

- Sun Cobalt Qube 3 (ML システム、日本語システム、OS Update 4.0 インストール済みのシステム)
- Sun Cobalt RaQ XTR
- Sun Cobalt RaQ 550
- Sun LX50 汎用サーバ

また、「アンインストール」オプションは、Sun Cobalt パッケージファイルの作成者がパッケージファイルの属性にこのオプションを含めた場合のみ利用できます。パッケージファイルの中にはこの属性が備わっていないものもあります。

汎用の RPM パッケージについては、「アンインストール」オプションは常に有効になっています。

Sun LX50 にインストールされている RPM パッケージはすべてアンインストールが可能です。ただし、サーバ上の別の RPM パッケージが、アンインストールしようとしている RPM パッケージに依存している場合には、アンインストール操作が失敗に終わる場合もあります。

## 3. MIPS ベースのサーバでは、インストールされているパッケージがサーバの管理画面に直ちに表示されない。

この問題は、MIPS プロセッサを搭載した Sun Cobalt サーバで発生します。該当する製品は、Sun Cobalt Qube 2 の英語および日本語バージョン、Sun Cobalt RaQ 2 の英語および日本語バージョンです。

Sun Cobalt コントロールステーションから上記のサーバのいずれかにパッケージをインストールした場合は、コントロールステーション UI の [Installed Packages] には、パッケージがインストールされたことが正しく表示されます。

しかし、上記の各サーバのサーバ管理ユーザインターフェイス (UI) の [インストールされているソフトウェアのリスト] には、インストールされたパッケージは表示されません。サーバの管理画面からそのパッケージを再びインストールしようとする (コントロールステーションからではなく)、そのパッケージはすでにインストールされているという内容のメッセージが表示された後、[インストールされているソフトウェアのリスト] がリフレッシュされ、ソフトウェア一覧に目的のパッケージが表示されます。

また、そのサーバの管理画面から別のパッケージをインストールした場合にも、[インストールされているソフトウェアのリスト] はリフレッシュされ、ソフトウェア一覧に目的のパッケージが表示されます。